



第1回航空／海上(合同)更改専門部会の結果報告

2012年6月21日
輸出入・港湾関連情報処理センター(株)

1. 第1回更改専門部会議事要旨

第1回航空/海上(合同)更改専門部会 議事要旨

1. 日 時 : 平成24年5月28日(月) 15:00~17:00
2. 場 所 : ソリッドスクエア ホール(ソリッドスクエア地下1階)
3. 議事の概要
 - (1) 開会
 - NACCSセンターより、航空及び海上更改専門部会の設置根拠及び設置に至った経緯について説明を行った。
 - 平成24年3月12日に開催された第4回情報処理運営協議会にて、次期海上及び航空システムの仕様に関して、官民利用者により検討を行うための専門部会を設置し、またその下に必要なWG(ワーキング・グループ)を設置すること等が了承された。
 - (2) 部会長選出
 - 航空及び海上更改専門部会の部会長に、東京税関大西総務部長が選出された。
 - (3) NACCSの更改について
 - 事務局より、NACCSの現況及び第6次NACCS開発(基本コンセプト、スケジュール、専門部会の構成)についての説明を行った。
 - (4) 更改専門部会における主な検討事項
 - 事務局より、基本仕様検討の流れ及び開発コンセプト(次期システムのあり方、現行システムへの評価・要望、検討事項)並びに専門部会等の開催日程と進め方についての説明を行った。
4. 意見交換の概要
 - 第6次更改に向けて、官手続きの簡素化を考える必要があるのではないか。現在の手続きが最適化されているかどうかといった視点での検討をお願いしたい。
また、議事資料1のスケジュールでは、新規サービスの追加仕様変更が平成30年10月以降となっているが、SIRやIVAといった現行システムにおける運用に課題のある業務については、追加仕様変更を平成29年10月の更改と同時にリリースする必要があると思われる。(委員)
⇒ 1点目の官手続きの簡素化についてであるが、専門部会での議論において手続等制度に関する見直しが必要な場合も想定されることから、平成29年10月の更改に向けて、必要に応じ手続等制度の見直しにも取り組むこととしている。(財務省関税局事務管理室)

2点目の新規サービスの追加仕様変更の時期について、スケジュール上は平成30年以降としているが、現行システムにおいて課題のある機能の仕様変更等については、基本として平成29年10月の更改のタイミングで対応することとしたい。

一方、次期NACCSで提供する新規サービスについては、今後、議論を行っていく中で検討し決定するものと考えている。その結果、新規サービスを提供することとなった場合は、更改作業のリスク等を十分に考慮のうえ、提供時期を平成30年以降とすることも想定しているものである。(事務局)

- 議事資料1の「第6次NACCSの方向性」において、出港前報告制度が第6次NACCS更改の検討項目に含まれているように記載されているが、違和感がある。(委員)
⇒ ご認識のとおり、出港前報告制度に関しては平成26年3月からの実施を予定していることから、現行システムにおいて対応すべき課題である。(事務局)
- 開発コンセプトに関係省庁システムとの統合形態の見直しや貿易関連手続きの更なるペーパーレス化の進展といった項目があるが、これらはシングルウィンドウ推進官民懇話会等における議題と共通するところが多いと考える。このため、更改専門部会及びWGに官民の関係者が委員として多数参加していることから、専門部会等を関係省庁システムの仕様について検討する場としていただきたい。(委員)
⇒ 本専門部会は、NACCSの仕様検討を行う場であり、シングルウィンドウ推進官民懇話会のような政策的な議論を行う場ではない。議題に共通事項が多くとも性格の違う会議であることをご理解願いたい。ただし、専門部会で関係省庁に関連する要望があれば、関係省庁に伝え、検討依頼したいと考えている。(財務省関税局事務管理室)
制度改正については、政府(行政機関)側で検討される事項であり、本専門部会において制度改正等の要望を受けることはない。ただし、政府側において検討する制度改正の内容が民側利用者に大きく影響(自社システムへの影響、業務運用に大きく影響するもの等)するものであれば、関係行政機関とも調整のうえ、専門部会の場において議論を行うことは考えられる。(事務局)
- WGにおける個別検討事項のうち、航空の輸入貨物の便単位管理の見直しについて、検討の過程で制度を含めた検討になると思われるが、制度に関わる場所も検討の対象となるのか。(委員)
⇒ 制度に関わる事項については、関係行政機関に対して検討を依頼する等の対応を採ることを考えている。従って、制度を含めた検討が必要な項目という理由をもって検討を打ち切ることは考えていない。(事務局)
関税局としては、システム開発の有無に係わらず、手続等制度の見直しを行ってきているところであり、本専門部会においても忌憚のない意見を頂戴したいと考えている。(財務省関税局事務管理室)

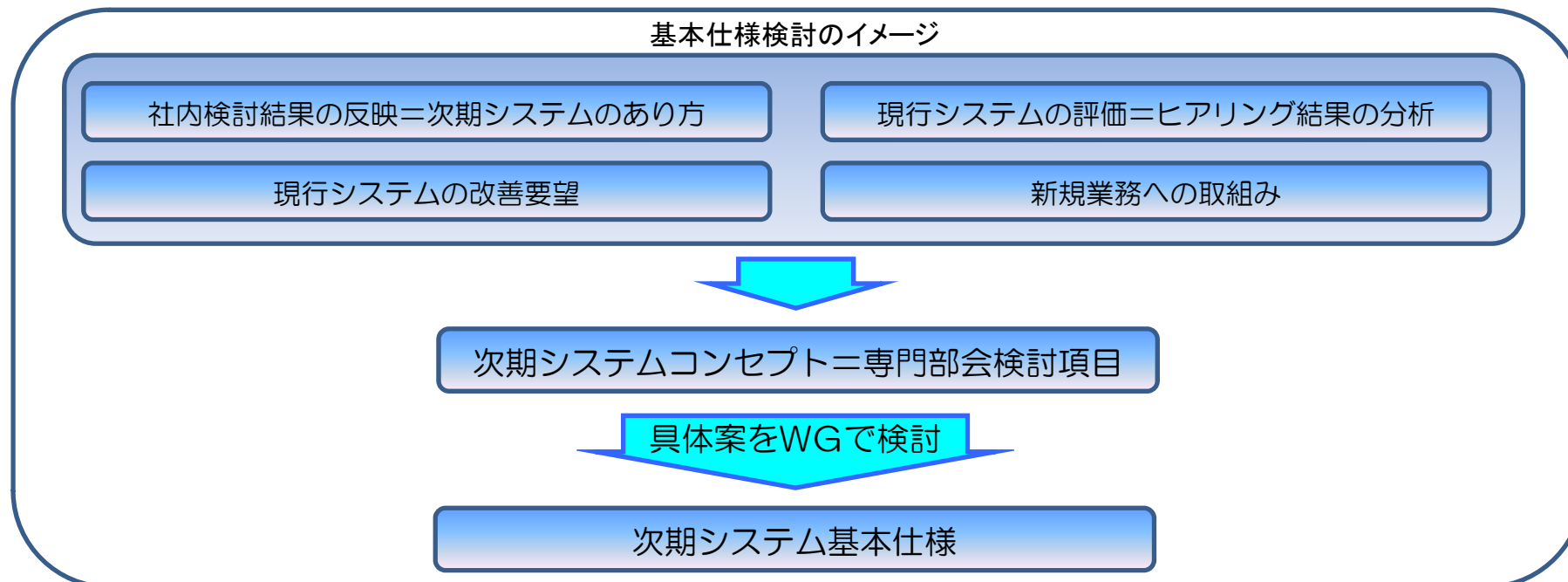
以上

2. 更改専門部会の目的

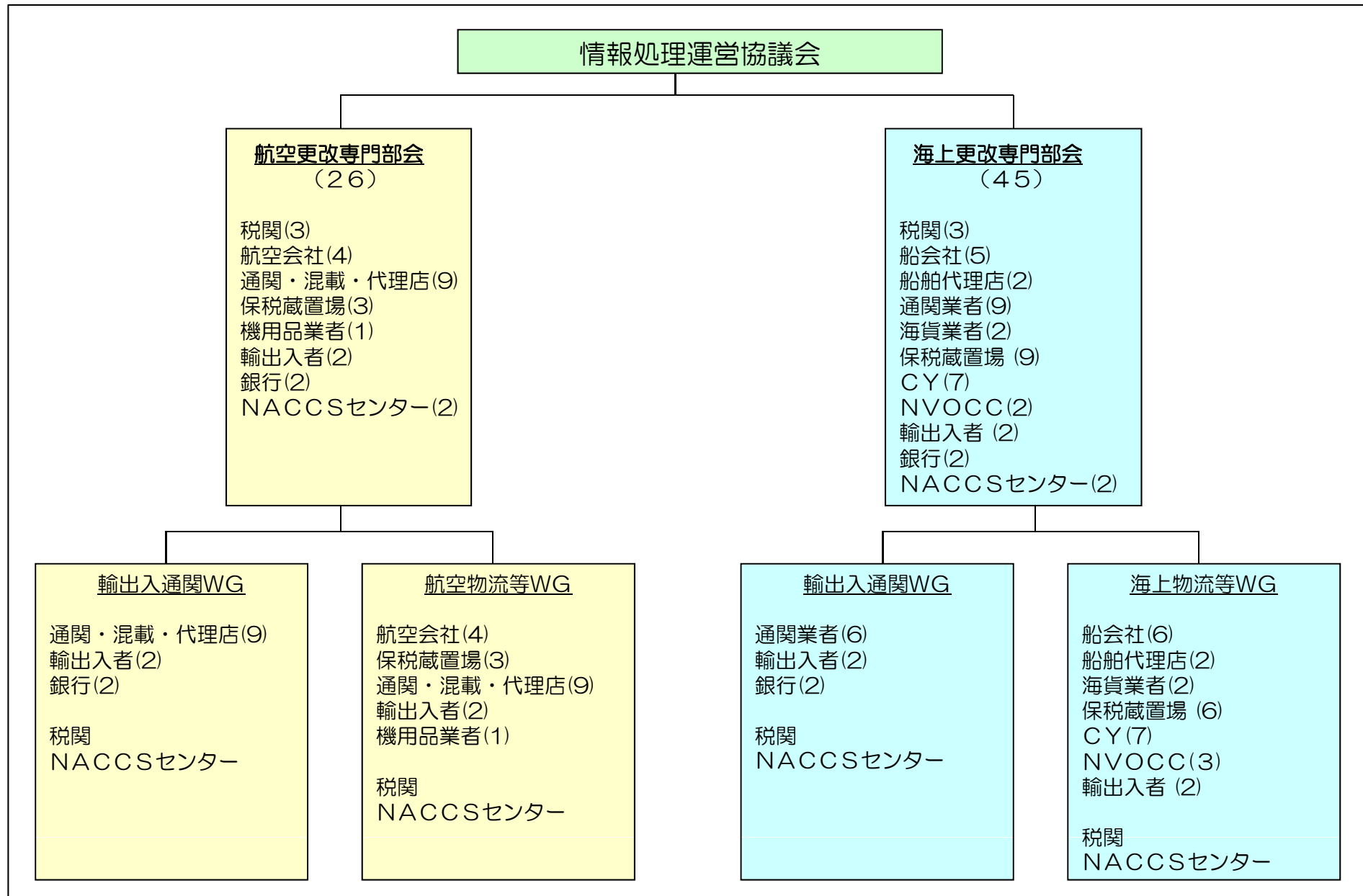
更改専門部会の目的：次期システムの基本仕様を検討し、2012年度中に決定する

基本仕様の検討に当たって、

- ① 国際物流を取り巻く環境の変化等を考慮して社内で検討した「次期システムのあり方」におけるコンセプト
 - ② 現行システムの評価・要望を踏まえた「利用者ニーズ」に基づくコンセプト
 - ③ 新規事業への取り組み
- により、国際物流とその関係者の利便性に寄与するシステムをめざす



3. 第6次NACCS更改専門部会



4. 第6次NACCS更改スケジュール

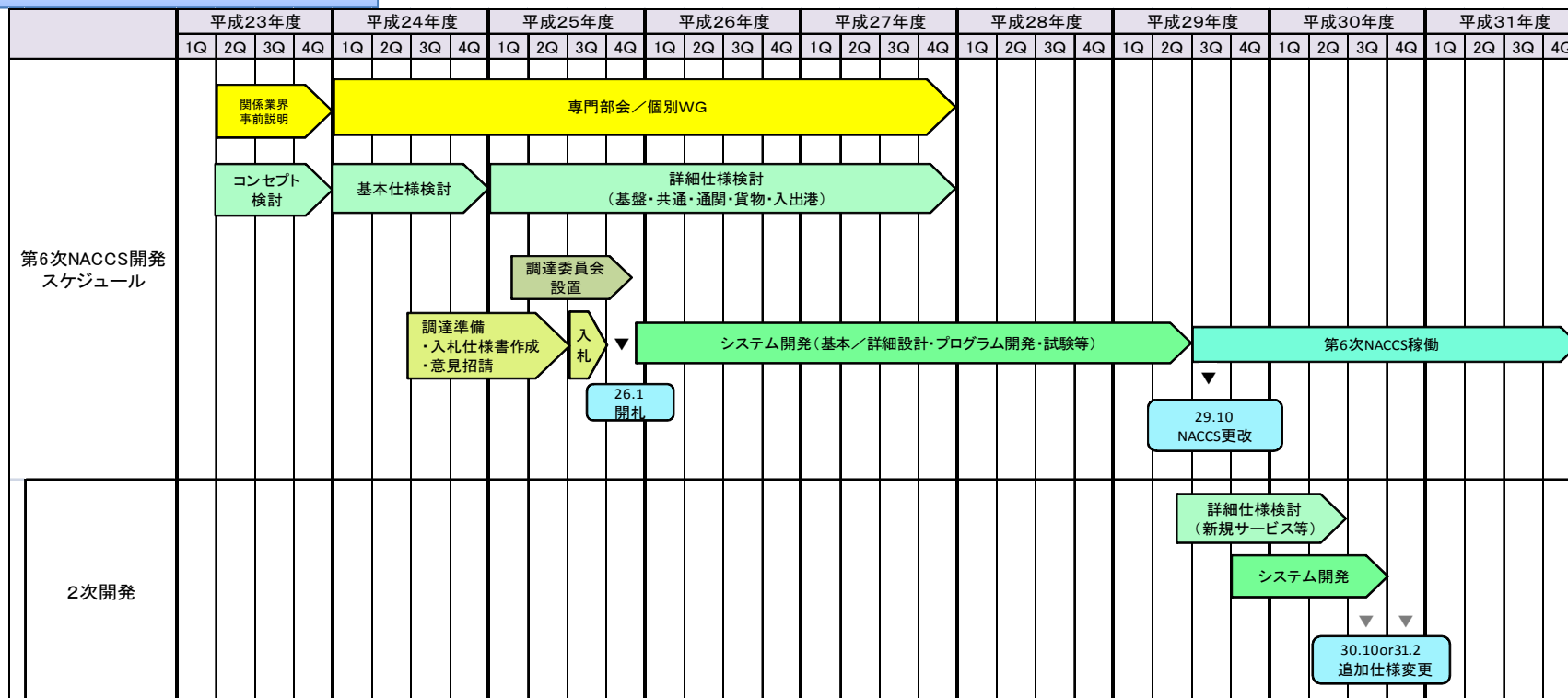
(1)更改時期

次期システムの更改時期は、NACCSのハードウェアの保守期限、関連省庁システム統合に係る契約期間、港湾サブシステムの更改タイミング等の諸要件を考慮し、平成29年10月とします。

(2)ライフサイクル

次期システムのライフサイクルは、利用者システムへの影響等を考慮し、これまでと同様に8年間とします。
 なお、中間年(4年目)での見直しも検討します。

(3)更改スケジュール



5. WGにおける個別検討事項（1）

WGでは、コンセプトを具体化した以下の項目について検討します

区分	個別検討・説明事項	検討内容等	輸出入通関WG	航空物流等WG	海上物流等WG
業務(共通)	1. 業務仕様見直しの考え方	基幹業務及び基本業務仕様については、現行仕様の堅持を基本とし、大幅な見直しは実施しない方向性とするが、現行システムから参加している輸出入者、NVOCC及び海貨業者に係る業務については、再度、見直しの必要性も含めて検討する。	○	○	○
	2. 航空システムと海上システムにおける対象貨物の整理	現行システムでは、海上システムにおいて航空貨物の取扱いが可能となっているが、これの廃止について検討する（既に統合システムとなっていることを踏まえ、航空貨物は航空機能、海上貨物は海上機能で処理することを前提とする。）。また、空－海連携機能のあり方についても検討する。	○	○	○
	3. NACCS専用口座の廃止	現行システムから導入したリアルタイム口座振替方式の利用が順調に増加していることから、専用口座を廃止することについて検討する。なお、リアルタイム口座振替方式については、納期限延長対応についても検討する。	○		
	4. プログラム変更要望の対応	プログラム変更要望のうち、更改等のタイミングで検討する必要がある案件について整理・検討する（輸出取止再輸入、輸入別送、関係省庁業務等）。	○	○	○
	5. 添付業務の見直し	現在の添付業務の制限値等の見直しについて検討する。（25年10月の制度改正の検討状況を考慮する。）	○		
	6. システム対象業務の見直し	・新規業務等の必要性について検討する。 ・汎用申請業務から個別業務への変更の必要性について検討する。	○	○	○
	7. システム制限値	システム制限値見直しの必要性等について検討する。	○	○	○
	8. 利用者コード体系の見直し	利用者コードの枯渇等に対応するため、利用者コードの桁数増等の見直しについて検討する。	○	○	○

5. WGにおける個別検討事項（2）

区分	個別検討・説明事項	検討内容等	輸出入通関WG	航空物流等WG	海上物流等WG
業務 (共通)	9. 管理資料の見直し	現在提供している管理資料の存廃・追加等について検討するとともに、提供方法等についても合わせて検討する。	○	○	○
	10. 海外との連携	現行システムにおける海外との連携状況を整理し、次期における方向性について検討する。	○	○	○
	11. 民民間における決済処理	民民間における決済処理機能(手数料收受等)として、リアルタイム口座振替と同様、BtoBにおける口座振替機能の実現について検討する。	○	○	○
(航空)	1. 輸入貨物の便単位管理の見直し	現行航空システムにおける輸入貨物管理は、便単位－MAWB単位－HAWB単位により構成されているが、当該管理方法の見直しを行う必要性(例えば、HAWB単位を基本)について検討する。	○	○	
	2. 航空における物流ワークフローの確認	・現行システムから参加した輸出入者が利用するEIR(S/I情報登録)、IIR(輸入指示書登録)業務と後続業務の連携のあり方について検討する。 ・輸出搭載処理においては、搭載上屋を前提とする仕様と搭載上屋を持たない場合の仕様が混在しているが、これら仕様のあり方について検討する。	○	○	
(海上)	1. 輸出入者・NVOCC・海貨業者業務の見直し	・業務処理フローの再確認を行う。 ・SIR等物流情報と通関系貨物情報との項目差異の対応について検討する(住所4分割、仕出港等の定義等) ・ACL業務の見直し →アタッチシートの取扱い、ACL03/04への移行等	○		○
	2. S/W業務の見直し	・入出港SWの見直しについて検討する(A・B業務のあり方、申請画面の見直し等)。 ・WEB業務化の導入について検討する。	○		○
	3. B/L桁数の35桁化	現行システムでも仕様書上は35桁としているが、事実上35桁運用が行われていないため、次期においては本格導入の方向で検討を進める。	○		○

5. WGにおける個別検討事項（3）

区分	個別検討・説明事項	検討内容等	輸出入通関WG	航空物流等WG	海上物流等WG
方式EDI等	1. システム構成等	<ul style="list-style-type: none"> ・メインセンター稼働率: 99.99%以上(バックアップ: 99.9%) ・業務トランザクション処理時間: 1秒以内(平均) ・24時間365日稼働 ・現行構成等の継続について提案する。 ・次期NACCS民間ネットワークの増強等について提案する。 	○	○	○
	2. バックアップセンター機能	<ul style="list-style-type: none"> ・バックアップセンターを設置する目的の明確化(大規模災害用以外の利用について検討する。)、切り替え時の迅速化・簡素化について提案する。 	○	○	○
	3. ダイレクト・インターフェース(X. 25)方式の廃止	<ul style="list-style-type: none"> システム資源の効率化を図るため、ダイレクト・インターフェース(X. 25)方式の廃止について提案する。 	○	○	
	4. 利用者インターフェースの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・端末パッケージソフト機能の見直し、バージョンアップ方法の見直し等について提案する。 ・Web方式の導入について提案する。 	○	○	○
	5. XML対象業務の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・XML対象業務のあり方について検討する。 		○	○
	6. IPv6対応の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・IPv6の普及状況を踏まえ対応要否等について提案する。 	○	○	○
移行	1. 移行の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・システム更改時における移行方法の基本的な考え方について提案する。 	○	○	○
新規提案	1. i-NACCS(仮称)の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・情報プラットフォームとしての機能拡充を図る観点から、情報提供機能に特化したシステムを構築し、以下のようなサービスを提供することについて提案する。 <ul style="list-style-type: none"> ○文書管理サービス ○RAWデータによる管理資料情報の提供 ○通関関連情報提供の充実 ○港湾統計用データの提供の見直し ○業務履歴データの管理・提供 等 	○	○	○

6. 専門部会等の開催日程と進め方（1）

航空

区分	時期	検討事項	備考
専門部会	5月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・次期システムの更改について ・更改専門部会における主な検討事項 ・更改専門部会の開催予定 	海上と合同開催
合同WG①	6月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・WGのスケジュール・検討事項について ・基幹業務・基本業務フローの確認 ・荷主業務の見直し ・HAWBを基本とした業務の考え方 	合同WG ⇒輸出入通関WG及び航空物流等WGの合同開催
合同WG②	7月26日 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回提案事項の検討 ・方式関連の提案(x.25廃止、利用者インターフェース改善等) ・システム構成、バックアップセンター機能の提案 	
合同WG③	9月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・前回提案事項の検討 ・更改時における移行方法について ・追加・廃止業務等を含めた対象オンライン業務一覧(案)、管理資料一覧(案)提案 	
合同WG④	10月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・前回提案事項の検討 ・情報提供機能に特化したシステムの構築（仮称i-NACCS）の提案 	
合同WG⑤	11月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・前回提案事項の検討 ・対象オンライン業務一覧、管理資料一覧の最終案の提案 	
合同WG⑥	12月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・基本仕様(案)のとりまとめ 	
専門部会	1月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・WGにおける検討結果の報告 ・基本仕様(案)の提案 	海上と合同開催

WGにおいて、11月までに個別検討事項について検討・整理を行い、12月に基本仕様（案）としてのとりまとめを実施する。WGにおいてとりまとめた基本仕様（案）について、平成25年1月に開催する第2回更改専門部会において報告を行うこととする。

6. 専門部会等の開催日程と進め方（2）

海上

区分	時期	検討事項	備考
専門部会	5月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・次期システムの更改について ・更改専門部会における主な検討事項 ・更改専門部会の開催予定 	航空と合同開催
合同WG①	6月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・WGのスケジュール・検討事項について ・基幹業務・基本業務フローの確認 ・荷主・海貨・NVOCC業務の見直し ・入出港業務の見直し 	合同WG ⇒輸出入通関WG及び海上物流等WGの合同開催
合同WG②	7月27日 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回提案事項の検討 ・方式関連の提案(利用者インターフェース改善等) ・システム構成、バックアップセンター機能の提案 	
合同WG③	9月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・前回提案事項の検討 ・更改時における移行方法について ・追加・廃止業務等を含めた対象オンライン業務一覧(案)、管理資料一覧(案)提案 	
合同WG④	10月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・前回提案事項の検討 ・情報提供機能に特化したシステムの構築(仮称:i-NACCS)の提案 	
合同WG⑤	11月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・前回提案事項の検討 ・対象オンライン業務一覧、管理資料一覧の最終案の提案 	
合同WG⑥	12月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・基本仕様(案)のとりまとめ 	
専門部会	1月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・WGにおける検討結果の報告 ・基本仕様(案)の提案 	航空と合同開催

WGにおいて、11月までに個別検討事項について検討・整理を行い、12月に基本仕様（案）としてのとりまとめを実施する。WGにおいてとりまとめた基本仕様（案）について、平成25年1月に開催する第2回更改専門部会において報告を行うこととする。